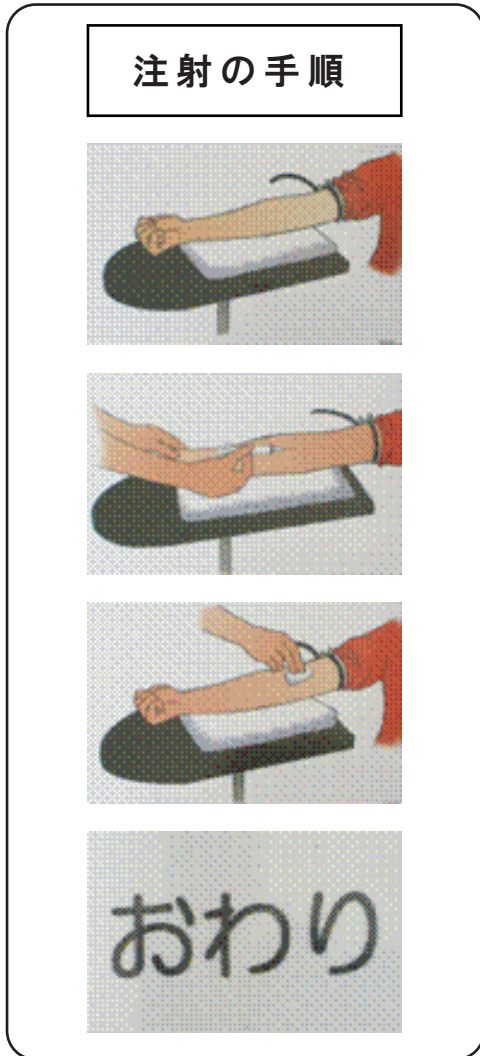
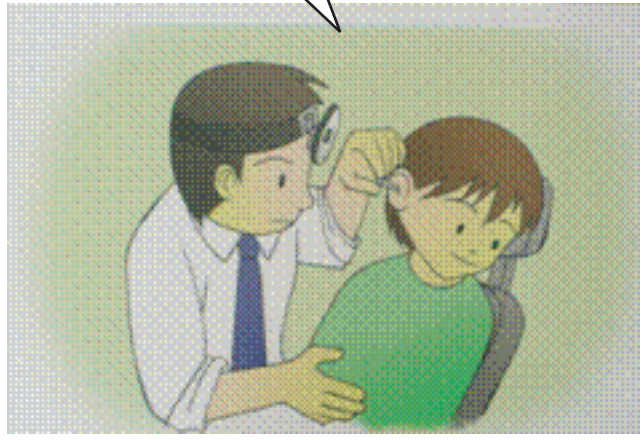


絵カードを使ってみる

診療行為の中でも、注射や鼓膜所見を見るなどの行為はこどもは特に嫌がります。こんな時はいくらことばで説明しても理解してもらえません。下のような絵カードを使用することで、行為の内容をイメージすることができ、安心して診療に望めることがあります。



耳を診ることを伝えるカード



最後に“終わり”を伝えるのがポイントです

また、経験したことのない検査や処置はとても不安を持ちます。絵カードでどのような検査かを示してあげるのも、良いでしょう。



CTスキャンがどんな検査かを伝える絵カード

@これらの工夫に使われているカードは、医療用絵カードとして市販されています。

「医療用絵カード」

NPO法人「生活支援センターあすく」作成（定価2,000円）

申込先：日本自閉症協会京都支部（FAX：075-813-5157）

文章でも理解可能なこども達がいいます。
予防接種を安心して受けてもらう為の例文です。

「インフルエンザの予防接種は大切」

ぼくは〇〇小学校に通う、元気な男の子です。
〇月〇日に△△小児科でインフルエンザの予防接種を打ちます。
インフルエンザになると高い熱が出て、ごはんも食べられないし、
せきがたくさん出てとても苦しいです。
学校も休まなくてははいけません。
だから、インフルエンザにならないように、
なってもそれ程苦しまないように予防接種を打つのです。
インフルエンザの予防接種は打つときには痛いですが、
でも、だいじょうぶ。
泣いてもいいけれど、動かないようにじっとしてみます。
そうすれば、すぐに終わりです。
終わったらすぐに帰れるし、お母さんも病院の先生も看護婦さんも
みんなが、“がんばったね”とほめてくれます。

終わりをみせる！

発達障害のこども達は、その処置そのものが嫌で
不安になっていることもあります。いつまで続くか
わからないために不安になっていることもあります。
点滴が、いつになったら終了するのか？吸入がいつまで続くのか？
終わりをわからせてあげます。
ただし、時間の経過は目で見て確認できませんので
時間の経過を目に見えるようにしてみます。
一番、簡単なのは時計ですが、時計が読めないこどものためにも
いろいろな工夫があります。



「タイムタイマー」というエイドです。
赤い部分が消えていくことで、
時間の経過を視覚的に確認できます。



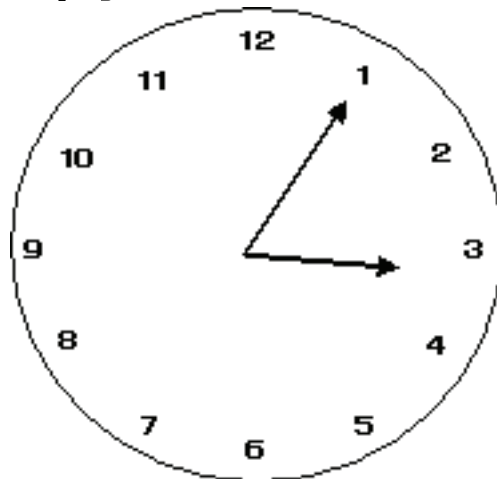
発売元：(株)アクセスインターナショナル
価格 小 5,500 円
中 6,800 円
大 7,500 円



「タイムエイド」といいます。
上の明かりと下の色違いの
ライトで、時間の経過を
視覚的に捉えることができます。

時計が読めるこどもには
このようなカードも有効です。

この点滴は



におわります